

入院診療計画書

胸腔鏡下肺切除手術をお受けになる

パス テスト001 様へ

主治医氏名		印
主治医以外の担当者氏名	担当医師	
	看護師長	
	担当看護師	
	管理栄養士	
病名		
症状		
特別な栄養管理の必要性		(あり・なし)

第二外科 病棟 病室


患者番号

0008985093

【患者または代理者同意署名】

年 月 日 氏名

*代理署名の場合 患者との続柄 ()

入院治療の目標 (達成目標)		退院後の生活の注意点が理解できる。				
推定入院期間	入院日 (月 日)	手術当日 (月 日) 手術前	手術当日 (月 日) 手術後	手術後 1日目	手術後 2日目	手術後 3~5日目 (退院)
注射・内服	・内服薬は説明通り服用して下さい。看護師が管理することもあります。・手術前の処置として寝る前に下剤を	・手術当日の薬は麻酔科医師の指示が通り服用します。・必要時、朝点滴をします。	・痛みがある時はボタン式痛み止めの点滴を押して下さい。・手術後も継続して点滴が入っています。	・入院時からの薬と痛み止め・胃薬・去痰剤の内服が始まります。	・点滴は終了です。	
検査	・手術前に採血と歯科受診があります。・必要に応じて、CT検査をします。	・手術時間はおおむね()時間です。	・熱、血圧、脈拍、酸素の値、傷を観察します。・傷の痛みや吐き気、管の観察をします。	・午前中に採血、胸部レントゲン撮影をします。・朝食前に体重測定をします。	・レントゲン撮影をします。	・適宜採血、レントゲン撮影を行います。
処置	なし	・朝、浣腸をします。	・手術室で背中にボタン式痛み止めの点滴が入ります。・尿の管が入ってきます。・胸に管が入ってきます。・心電図モニターをつけます。・酸素吸入をします。・血栓予防のため足に器具をつけます。	・血栓予防の器具を外します。・酸素の値を確認して酸素を外します。・心電図モニターを外します。	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 胸の管を抜きます。 背中の痛み止めの点滴を抜きます。 </div>	
教育・説明・指導	・担当医から手術の説明があります。・手術のために呼吸訓練をします。・禁煙です。・身長・体重測定をします。・麻酔科受診し、麻酔科医師からの説明と同意書に署名を頂きます。・その他署名を頂く書類があります。・必要物品をそろえてください ・バスタバンド1~2枚 ・ディスポパンツ 1枚 (売店で購入できます)	・入れ歯やメガネなどの貴金属類を外します。・歩行か車椅子で手術室に行きます。・手術後は看護室に近い部屋に移動するため、荷物をまとめてください。<ご家族の方は手術中は必ず5階南病棟のデイルームかエレベーターホールでお待ちください>・食事などに行かれる際には、看護師に伝えてください。	・手術後、ご家族に手術の内容の説明があります。・痰はできるだけ出してください。	・看護室に近い部屋から大部屋(もしくは個室)に移動します。		
安静度	・制限はありません。・風邪をひかないように注意して下さい。		・ベッド上安静です。	・病棟内歩行可能です。	・病院内歩行可能です。	
食事	・手術前日()時から食事は食べられません。	・()時から水も飲めません。	・翌日朝まで絶飲食です。	・朝から水が飲めます。・昼から一般食が始まります。		
排泄	・トイレ歩行可能です。		・手術後は尿の管が入っています。	・歩行できることを確認して尿の管を抜きます。	・トイレ歩行可能です。	
清潔	・シャワーか体拭きをします。	なし	なし	・体拭きをします。	なし	・胸と背中の管を抜いた翌日からシャワーができます。
リハビリ	なし	なし	なし	なし	なし	なし
その他	なし	なし	なし	なし	なし	なし

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。

*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。

*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。

山梨大学医学部附属病院

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110番地 TEL:055-273-1111(代表)

2022年7月改訂